

基本項目	詳細項目	改革前						改革後						第三者評価	
		課題としていたこと	解決方法	平成28年度取組内容	優先度(A~C)	必要予算	達成目標	進捗度	取組の結果できたこと	達成度(A~E)	課題事項・問題点	住民から見た変化	今後の取組方法	達成度	講評
情報共有	議会活動の見える化	本会議以外の会議のようすが市民に見えにくい。	委員会の活動状況が常に見えるようにする。	常任委員会の会議録(要点記録)をホームページで公開する。	B	0円	平成30年3月	継続	一日一常任委員会により委員会を開催した。また議会事務局フェイスブックを活用し、動画配信を開始した。	B	自己満足型の見える化ではなく、住民が見たくなるよう、見える化したことによる委員会そのものの活性化や運営改善に繋げたい。	すべての常任委員会を傍聴できるようになった。また、インターネットを通じていつでも委員会動画を見ることができるようになった。	中高生や若者にも見てもらえるよう、傍聴者や動画閲覧者が見ていて分かりやすいような委員会運営を進める。		
		会議日以外の活動のようすが市民に見えにくい。	会派又は議員が行う政務活動の活動状況が常に見えるようにする。	政務活動費に係る使途内訳明細をホームページで公開する。(活動報告書は公開済み)	A	0円	平成30年3月	完了	活動経費にかかる領収書の写しをホームページで公開した。また、政務活動費の交付に関する条例を改正し、旅行を伴う活動については計画書及び実績報告書の提出を義務付け、事前事後の活動の見える化を図った。	A	会派視察がその後どのように活かされているか等、政務活動がどのように課題解決に繋がっているか、成果の見える化を図りたい。	ホームページでも政務活動費の使途や領収証、会派視察の内容を見ることができるようになった。	議会広報を通じて政務活動の成果報告をする等、会派活動の活性化を促し成果の見える化に繋げていく。		
住民参加	未成年を対象としたシティズンシップの推進	若年人口流出や18歳選挙権を踏まえ、未成年者が地域・政治に関心を高めるためのシティズンシップの推進を図りたい。	学校・地域・行政機関等と連携し、未成年者が議会を通して地域・政治に触れる機会を作る。	「高校生×ギカイ」の企画化を進め、かだつて会議や模擬議会・模擬請願・模擬選挙を実施する。	A	0円	平成31年7月	継続	管内の高校生を中心に、大学生、若手農業者等の参加により、高校生かだつて会議を開催した。	A	かだつて会議に限らない、議会と未成年者との接点づくりを図りたい。	かだつて会議に参加した学生が、議会・議員の存在を知ることを通じて地域を考えるようになった。	中学校へもアプローチし、模擬議会・模擬請願・模擬選挙の取組みを進める。		
議会機能強化	ICT利活用による審議・調査の充実	会議での話し合いや調査活動などをより効率的・効果的にやりたい。	全議員がタブレット型端末を所有し、会議資料などのデータ共有化・ペーパーレス化を行う。	各種会議のペーパーレス化による、効率的・効果的な審議手法を検討する。	A	0円	平成28年7月	継続	無料グループウェアアプリを活用し、協議等の場として設置する会議、議案説明会、事務事業説明会の完全ペーパーレス化を図った。	A	会議資料のタブレットデータ表示をもっと見やすくしたい。	議会外でも議員のタブレットから、議案や計画図等を見ることができるようになった。	会議資料のペーパーレス化をさらに進めるとともに、タブレットデータ表示でも見やすい会議資料の作成・保存を進める。		
	政策的議員提案条例の制定	地域課題解決の手法として、議員提案による政策的条例を制定したい。	多様な市民意見を参考にし、議会全体として地域課題解決を図るための政策的条例の策定を進める。	「地酒等乾杯条例(仮称)」の平成28年中の制定に向け、策定作業及び関係者意見交換に取り組む。	A	0円	平成31年7月	完了	地酒等普及促進・乾杯条例を議員提案により制定した。	A	地酒以外に地元飲料水(ノンアルコール者向けの乾杯)の普及も図りたい。	大きな会合などで地酒で乾杯する機会が増えた。	条例の実行性を高めるため、条例の検証作業を進める。		
	議員定数の適正化	適正な議員定数について結論を導きたい。	多様な市民意見を参考にし、市民に開かれた場での検討・議論を尽くし結論を出す。	議会のあり方検討会議において、データ統計や市民アンケート(かだつてレター)を実施しながら議員間対話を進める。	A	10千円	平成29年7月	完了	議会のあり方検討会議による議員間対話を踏まえ、適正な議員定数を20人とする条例改正を行った。	-	条例改正案では賛否が拮抗したことから、議員間対話をもっと深める必要があった。	-	-		
	災害時の議会体制強化	災害時における議会と市災害対策本部との連携・協体制を強化したい。	ICT利活用による議会内の情報収集・共有能力の強化を図るとともに、市災害対策本部との情報連携・協体制を構築する。	グループマップ等を活用した被災情報の整理・組立て方について検討する。また、市災害対策本部への議会参加のあり方について検討する。	A	0円	平成31年7月	未着	-	-	-	-	-		

*「優先度」 A：高、B：中、C：低

*「達成度」 A：全て(100%)、B：概ね(75%)、C：半分(50%)、D：一部(25%)、E：未着(0%)